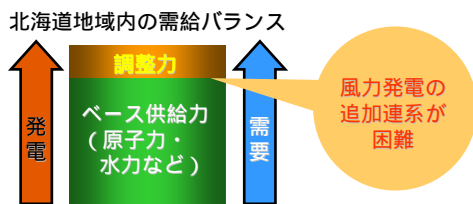


現状：風力発電の追加連系が困難



●システムの調整力の制約

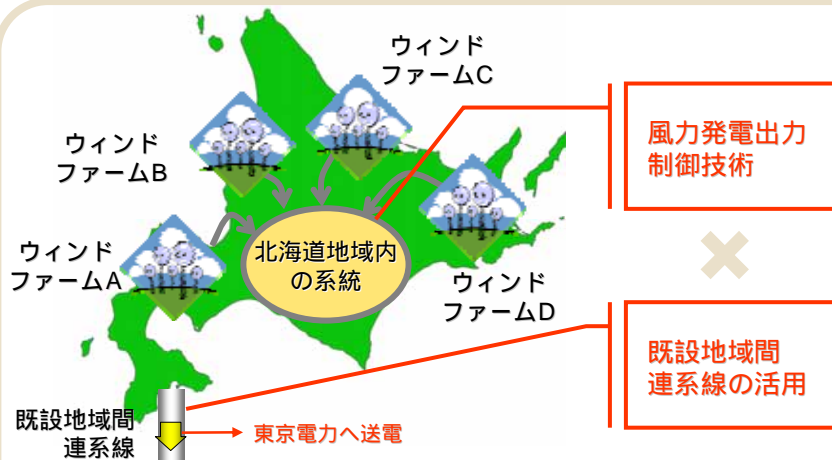
北海道地域内の系統は、調整力が不足。



●風力発電の出力不安定性

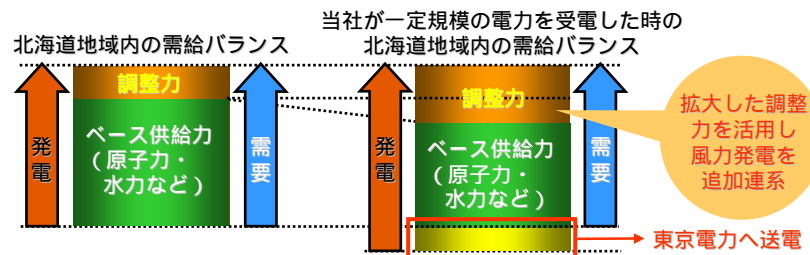
発電出力が風量や天候などの気象条件に左右され安定しないため、電気を安定して送るのに必要な周波数や電圧を維持できないなどの安定供給上の課題。

実証試験：風力発電の追加連系を実現



●既設地域間連系線の活用

当社が北海道電力から継続的に一定規模の電力を受電することで、北海道地域内の調整力を拡大。



●風力発電出力制御技術の組み合わせ

調整力が不足する場合は、風力発電の出力をコントロールすることで系統安定化を図る。

(注) 一般社団法人電力系統利用協議会において、新エネルギー発電の導入拡大に際し地域間連系線が活用されることの評価を現在行っており、北海道電力、東北電力、東京電力の3社も検討に参画。